おばなざわ

ボランティアだより

第25号
平成28年２月１日発行
編集発行
尾花沢市社会福祉協議会
尾花沢市ボランティア連絡協議会
東光館内 ☎22-1092

振子万造さんに学ぶ

第1回 ボランティアスクール開催

去る平成二十七年十一月七日に、尾花沢警察署若手職員の方を迎え、第1回ボランティアスクールを開催し、「撃退！振り込め詐欺・マイナンバー特殊詐欺」について学びました。

寸劇による学習で、内容は振子万造さん宛てにマイナンバーのお知らせが届きます。ある日万造さんに「あるNPO法人に寄付したいが、自分たちの企業名では寄付できないことになっている。そこで、万造さんが寄付したことにしてお金は出さなくていいのでマイナンバーだけ貸してください。」と電話が入ります。気のいい万造さんは「いいよ」と返事してしまいます。ところが、後日「振子万造さん、あなた自分のマイナンバーを貸しましたね。それは犯罪になります。犯罪にならないようにするには、万造さんが寄付したことにしなければならないので、五百万円用意してください。」というものでした。万造さんは大石田駅まで五百万円を待って行き、危うく取られそうになりますが、孫娘の振子真愛さんに止められ危機を脱しました。

参加者は、ボランティア団体と民生委員児童委員また老人クラブに所属していて、高齢者と接することが多い方たち約六十名です。このボランティアスクールをきっかけに詐欺への注意喚起を行い、声がけや見守り活動に生かしていただきたいと思います。

また、同時に自立生活センター代表の梅津洋治氏より「ピアカウンセリング」についての講話をいただき、悩みを持つもの同士が話し合い、協力し合うことで少しでも解決や緩和ができればという取り組みを教えていただきました。講話を頂いた梅津氏、尾花沢警察署のみなさまに深く感謝申し上げます。

ごあいさつ

共に生き共に育つ ボランティア活動

尾花沢市ボランティア連絡協議会
会長　加藤朋子

この度、総会におきまして会長に選任され、早いもので半年が過ぎました。

会長就任にあたりまして、改めてボランティアとは、と考えてみました。

ボランティアは、ラテン語の「ボランタス（自由意志）」が語源だと聞いております。

最近までのボランティア活動は、ボランティア＝奉仕の認識感が強かったように思われますが、現在のボランティア活動は、子供も高齢の方もそして障害を持っている方も共に生き、共に学び、共に育ち、共に暮らしていくために行う活動に変化してきました。

私も会員及び地域住民の方と、お互いに平等な立場で協力し合えるボランティア活動とボランタス（自由意志）に基づく実践を目指すと共に、会員の拡大に努めていきたいと考えております。

経験等に不安もありますが、会員の皆様のお力添えを頂きながら力を尽くしていきたいと思っております。

さて、就任最初の事業は、八月のハイマート福原夏祭りでの風船射的等、縁日のお手伝いでした。

利用者の皆様や職員の方々と一緒に楽しいひと時を過ごして来ました。

九月には、復興のトップランナーと言われています岩沼市の集団移転先、玉浦西地区の視察研修会を行いました。

すばらしい町並みを視察後、地区の皆様との交流会では心を込めて作って頂いた、芋煮とおにぎり等でのおもてなしを受けて来ました。

十一月の第1回ボランティアスクールでは、自立生活センターほっとらいふ代表梅津洋治さんのピアカウンセリングのお話しと、尾花沢警察署「花笠実践塾」の若手職員によります寸劇を交えての詐欺のお話しを聞きました。

3月には第2回ボランティアスクールを予定しております。より多くの方の参加をお待ちしております。

結びになりますが、前大類会長始め歴代会長の皆様が、ボランティア連絡協議会の基礎を築きあげて頂きましたこと感謝申し上げます。

ハイマート福原　夏祭り

岩沼市訪問

今年度もボランティア連絡協議会で岩沼市へ訪問してまいりました。伺ったのは、九月十九日。昨年までは、復興支援として訪問しておりましたが、今回は視察研修という形で伺いました。以前は仮設住宅に住んでいらっしゃる方が多かったのですが、今回伺った時には約2割程度しか残っておらず、みなさん移転されそれぞれの生活に踏み出されておりました。

中でも、玉浦西地区は先駆的地域で、地域の方がまとまり集団移転された地域です。4年足らずですばらしい町並みができあがっており、訪問した私たちも驚いてまいりました。今まで田畑だった土地を2mほど盛り上げてそこに住宅を建てたということでした。さらに今までなかったスーパーも建ちちょっとした高級住宅地になっておりました。

また、教訓を生かし公園を4つ設け、それぞれに避難場所を作り普段は地区の方々のいこいの場所として使われております。

玉浦西地区を見学させていただいた後、集会場で宮城尾花沢会の方たちより、御馳走を準備していただき、心の交流も図ってきました。

玉浦西まちづくり住民協議会の中川会長さんはじめ小林副会長さんや代表委員さんのそれぞれのお話しを伺いながら、地区の方みんなで考えた町のことや、被災した時の苦労話しなどを聞きながら交流を深めてきたところです。

冬に尾花沢の「おばね雪ほり隊」でまた再会することを約束して帰ってきました。

サマーヤング ボランティアスクール

今年度のサマーヤングボランティアスクールは、平成二十七年七月三十日銀山温泉へ赴き、ゴミ拾いをしながら銀山の歴史について学んできました。参加者は小学生、中学生、高校生合わせて約五十名。

銀山の奥へ進み銀坑洞やおもかげ園へ足を延ばし、ゴミ拾いをしてきました。

午後からは、日本赤十字社山形県支部から講師を招き、三角巾を使った包帯法を教えていただきました。子供たちはそれぞれペアを組み、お互いのケガの箇所を三角巾で手当てをして応急処置の方法を学んでおりました。

今回もお昼の準備は尾花沢市ボランティア連絡協議会の方に炊き出しをしていただきました。

赤十字奉仕団結成

平成二十七年八月三十一日、日本赤十字社山形県支部に於いて、尾花沢市に野外炊飯器が贈呈されました。これは、市地区に赤十字奉仕団が結成されている、または結成を予定しているものに贈呈されるもので、尾花沢市で初の赤十字奉仕団を結成することになりました。

この赤十字奉仕団に手を挙げてくれたのが、尾花沢地区婦人会のみなさんです。これまでも、尾花沢地区の老夫婦世帯などにお弁当の炊き出しなどを提供していた経緯があり、さまざまなボランティア活動をしている団体です。

尾花沢市に赤十字奉仕団を設けられるのは一つのみで、日赤山形県支部では震災後二例目となります。

去る十月十六日に尾花沢市赤十字奉仕団結団式が市文化体育施設サルナートコンベンションホールで行われ、赤十字奉仕団団旗を贈られました。実際に奉仕団として活動開始は二十八年度からになるとは思いますが、今までの活動をより一層充実したものにしていただきたいと願っております。

尾花沢市赤十字奉仕団では、団員を募集しております。尾花沢地区だけではなく、全地域からの参加をお待ちしております。

尾花沢市赤十字奉仕団　団員募集
（社会福祉協議会内）
事務局：0237－22－1092

ふくらむ会

倉兼　トモ子

私たち「ふくらむ会」は、会員十四名、宮沢地区の食生活改善推進員のメンバーです。これまで、万寿荘での花植え、子供たちとの流しそうめん、一人暮らしの高齢者の方へのお弁当作りなどを行ってきました。毎回、たくさんの方とふれあい、楽しく参加することができました。

これからも、皆さんに掛けて頂いた「ありがとう」の言葉を励みに、私たちも笑顔を忘れず活動していきたいと思っております。

尾花沢小学校ボランティアクラブ

今年度もたくさんのボランティア活動をしてくれました。保育園やディサービスでのふれあい活動など、何をしたら喜んでもらえるのか自分たちで考えて活動した一年でした。

全国社会福祉協議会 ボランティア活動保険 に加入しましょう

次の４つのコースをご用意しています。

	Aプラン	Bプラン
基本タイプ	300円	450円
天災タイプ	460円	690円

Aプランで入院6,500円、通院4,000円保証	ボランティア活動のための学習会・会議などでの事故も補償
活動場所と自宅との往復途上の事故も補償	ボランティア自身の食中毒・熱中症・特定感染症もOK

福原中学校車いす体験学習 H27.5.27

社会福祉協議会では、福祉体験学習・高齢者疑似体験や車いす体験などを実施しております。平成２７年度も福原中学校３年生が体験してくれました。車いすに乗って４センチ程度の段差を越える体験（写真）をしたり、車いすバスケをしてみたり、また身体にウエイトを付けて高齢者になったつもりで介助を受けたりします。誰にでも訪れることであり、また実際に将来障害を持った人と出会ったりした時に、スッと手を差し伸べられる大人に育って欲しいという願いを込めて学習会を開催しております。この日参加してもらった福中の生徒の方たちもすばらしい介助者の顔を見せてくれました。

尾花沢市ボランティア連絡協議会

団体・個人ボランティア大募集

尾花沢市ボランティア連絡協議会では、ボランティア団体を募集しております。

連絡協議会では、ボランティアに関する研修会や視察などを行い、団体もしくは個人のスキルアップと交流を目的に活動しております。

また、毎年冬の時期になりますと、除雪ボランティアセンターができます。そこで、「おばね雪ほり隊」として炊き出しの活動などもしていただいております。

自分たちだけで活動するのもいいのですが、他の団体と交流し合いながらレパートリーを増やしていただいてもいいのではないでしょうか。

年会費は団体千五百円、個人三百円となっております。この機会に是非ご連絡をいただけたらうれしく思います。

おばね雪ほり隊 同時募集

毎年、要援護者宅の除雪ボランティアをしております。他県からも多数参加いただきます。市民の力を貸してください。